



ましこ

12月定例会・12月臨時会審議結果	2~3
一般質問	4~8
要望活動・議会活性化検討委員会からの報告	9
常任委員会活動	10~11
町民の声	12



田野小学校
6年生による
子ども議会開催

[12月定例会]

益子町議会議員及び益子町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を制定

令和3年第19回定例会は、11月30日から12月2日までの3日間の会期で開かれました。

補正予算5件、条例4件などを審議し、原案どおり可決したほか、陳情審査報告が1件ありました。町政に対する一般質問では、8名の議員が登壇しました。

令和3年度補正予算

令和3年度12月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	12月補正額	合計
一般会計	85億9,603.8万円	1億 387.2万円	86億9,991.0万円
特別会計	国民健康保険	26億1,597.3万円	2億9,007.6万円
	後期高齢者医療	2億2,011.1万円	0円
	介護保険	16億6,408.2万円	74.5万円
	公共下水道事業	6億5,314.4万円	560.5万円
	農業集落排水事業	1億1,192.4万円	197.7万円
合計	138億6,127.2万円	4億 227.5万円	142億6,354.7万円

【歳出補正予算の主な内容】

- ・防犯灯、カーブミラー設置工事料（223万円）
- ・障害者自立支援給付費（1,788万円）
- ・新型コロナウイルスワクチン接種率アップ事業（800万円）
- ・個別予防接種費（インフルエンザ年齢拡大分）（800万円）
- ・二十歳のつどいPCR検査委託（83万円）
- ・コミュニティ助成事業（小泉自治会）（140万円）

● 益子町議会議員及び益子町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定
（全員賛成）

● 益子町国民健康保険条例の一部改正
（全員賛成）

● 電気回転釜売買契約
（全員賛成）



令和4年1月1日からの出産育児一時金の金額が見直しに伴う改正です。

● 神障害者保健福祉手帳1級所
（全員賛成）

● 益子町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改
（全員賛成）

● 千円」の契約について議決しました。

● 益子町土砂等の埋立て等による土壤の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部
（全員賛成）

● 条例で定める小規模特定事業に係る土砂等について、県内から発生した土砂等で発生場所から直接搬入されるものであることを要件に追加し、また、化学的安定処理をした改良土については搬入を制限し、さらに、周辺住民への事前説明の実施を許可要件に加えるものです。

● 条例の改正

地方公共団体が候補者の選挙運動費用を負担する制度が設けられたことに伴い、選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関し必要な事項について定めることです。

持者への助成対象拡大に伴う改正です。

条例の制定

令和3年12月定例会・12月臨時会 審議結果

指定管理者の指定

● 益子町地域資源総合管理施設の指定管理者の指定
(全員賛成)

公の施設に係る指定管理者の指定手続に基づき、次のとおり指定しました。

◇団体の名称

上大羽むらづくり委員会

◇指定の期間

令和4年4月1日から
令和9年3月31日

人権擁護委員候補者の推薦

(全員賛成)

令和4年3月31日付けをもって任期が満了する、益子町大字上大羽 田中修二氏の後任人事で引き続き同氏が推薦されました。

寄附受け入れ報告

● 新型コロナウイルス対策のため

◇陳情者
(令和3年陳情第2号)

沖縄県那覇市おもろまち

4丁目17番11号1階

「新しい提案」実行委員会

責任者 安里 長徳

東京都新宿区四谷二丁目

8番地岡本ビル5階

全国青年司法書士協議会

会長 阿部 健太郎

◇審議結果【継続審査】

(全員賛成)

総務産業常任委員会に付託され、慎重審議のため閉会中の継続調査となつた。

陳情

● 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情

字の区域の変更

● 字の区域の変更(全員賛成)

令和2年度に実施した地籍調査事業の大沢I地区において現地調査の結果、現況に符合しない字の区域が生じたため、字の区域を変更するものです。

人 事

(全員賛成)

◇寄附者

黒田泰蔵作 陶磁器66点

議員の中から選任する監査委員に小島富子議員が選任されました。

今後は代表監査委員とともに町の財政及び経営等の監査を行います。

◇寄附物件等

3735万円相当

◇寄附物件等

近藤悠三作 陶磁器1点
200万円相当



[12月臨時会]

子育て世帯への臨時特別給付金 現金で一括給付

令和3年第20回臨時会が12月20日に開かれ、一般会計補正予算（第5号）の専決処分を審議承認、一般会計補正予算（第6号）を審議可決しました。

令和3年度 補正予算

◆一般会計補正予算（第5号）の専決処分を全員賛成により承認しました。

会計区分	補正前の額	補正予算額	合計
一般会計	86億9,991万円	1億6,112万円	88億6,103万円

【補正予算の主な内容】 ・子育て世帯への臨時特別給付金 1億6,000万円

◆一般会計補正予算（第6号）は全員賛成により可決しました

会計区分	補正前の額	補正予算額	合計
一般会計	88億6,103万円	1億6,010万円	90億2,113万円

【補正予算の主な内容】 ・子育て世帯への臨時特別給付金 1億6,000万円

・新型コロナワクチン接種率アップ支援事業 750万円（予備費から充当）

一般質問 8名の議員が登壇！

*議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

加藤 芳男 議員 (5ページ)

- 1 町長の政治姿勢について
- 2 農業の振興について
- 3 地区別戦略について

直井 瞳 議員 (5ページ)

- 1 協働のまちづくりについて
- 2 子育て教育振興について

小島 富子 議員 (6ページ)

- 1 町の最重要課題である少子化について
- 2 日本遺産（かさましこ）認定登録後の取り組みについて

大関 保 議員 (6ページ)

- 1 土砂等の処分による埋め立てや盛土について
- 2 観光振興について
- 3 第3期ましこ未来計画の産業振興について

諸田 秀之 議員 (7ページ)

- 1 隣県2022生産緑地問題による本町での影響について
- 2 ネットいじめから子どもをどう守るかについて
- 3 メガソーラーでの環境保全問題全般について

岩崎 秀樹 議員 (7ページ)

- 1 図書館建設について
- 2 財政運営について

大内 千嘉夫 議員 (8ページ)

- 1 通学路の安全確保と緊急自動車の通行可能な道路について
- 2 障害児保育・療育について

小野澤 則子 議員 (8ページ)

- 1 観光の基幹産業化に向けた取り組みと現在の状況について
- 2 ましこ男女共同参画プランについて
- 3 「にんしんSOSとちぎ」の開設に伴う町の対応について



*質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内としていますが、今回も新型コロナウイルス感染症対策として、40分以内で行いました。

町議会ホームページから会議録がご覧いただけます。
12月定例会の会議録は2月下旬に公開予定です。

益子町議会会議録

検索

一般質問の映像DVDを中央公民館図書室で貸出していますのでご利用ください。

現在大塚町長は四期目ですが五期目の出馬をどう考えるのか。

四期目を振り返ると新型コロナウイルスの影響で、前半後半と様相が大きく異なりました。前半は町民の皆様が躍動した2年間であり、道の駅ましこが数々の建築賞を頂き、3周年を待たずして来場二百万人を達成しました。後半は新型コロナウイルスの対応が最優先事項となり、皆様の命や健康を守りながら経済や雇用や学校生活をいかに並行していくか難題続きであります。町長選については、特に5期目であり、益子のためどうすべきか、繰り返し自問自答し、新型コロナウイルス対策本部長として終息までしつかりと力を尽くしたい。今後行う予定の大型事業を最後まで成功に導けるように責任を持つて行なっていく。最大課題である少子化についても、第3期ましこ未来計画の最重要指標を達成



加藤 芳男 議員

町長選挙について

質問 現在大塚町長は四期目ですが五期目の出馬をどう考えるのか。

町長 四期目を振り返ると新型コロナウイルスの影響で、前半後半と様相が大きく異なりました。前半は町民の皆様が躍動した2年間であり、道の駅ましこが数々の建築賞を頂き、3周年を待たずして来場二百万人を達成しました。後半は新型コロナウ

することが絶対的に必要であり、逆転の時代の素地を何が何でも作つていいきたい。そう決意を固めて出馬することを正式に表明します。

農業振興について

質問 農業を引き継ぐ人材育成のと農産物のブランド化に向けた政策を伺います。

町長 農と食のプロジェクトを立ち上げ、農業従事者の受け入れ体制の整備や育成、農産物の販路開拓、

様々な事業を実施し、担い手の育成を推進したい。国では就農前の2年間の研修と就農後の5年間の経営確立を支援する農業次世代人財投資事業による資金面での支援や地域サポート体制による技術支援を行つて、いる経営を確立した農業者には経営類型に合つた現地検討や勉強会、視察研修を実施している。今後もより効果的な支援を行うため、関係機関と連携を図りながら担い手育成に取り組んでいく。

農産物のブランド化については、西洋野菜に注目している。彩り豊かで希少価値が高い野菜であり、生産する若手農家も増えている。町内



直井 瞳 議員

協働のまちづくりについて

質問 人口増加に向けた地区別戦略の策定について、どのように推進していく考えか。

町長 (一社) 持続可能な地域社会総合研究所と連携し、地区ごとの人口分析や地区コミュニティ体制の見える化を図り、地区別戦略を策定する意義などについて10月に講演会を開催しました。今後は、より一層の周知と現状分析の成果の共有を図り、地区の範囲の検討を進め、具体的な戦略の策定に着手します。

質問 今年度どのような取り組みを実施する予定か。

総務部長 町内を15地区に区割りした人口シミュレーションの作成、モデル地区を選定し、ワークショップの開催を予定しています。

教育長 地域と共にある学校づくりを目指して学校運営の基本方針の承認等や地域ごとに特徴ある取り組みを行つていきます。田野小学校においては、こども110番の新たな設置や地元消防団等による避難訓練の実施を予定しております。

ましこ育脑プログラムについて

質問 今後どのように普及推進していく考えですか。また、現状の事業進捗を鑑み、事業実施の成果をどのように検証、評価していく考えか。

町長 乳幼児健診時に育脳の話や育脳に結びつけた親子遊びの指導をしており、ましこハウスでも育脳に関連した活動をしています。引き続き、教育委員会と連携し、脳の発育段階に合わせた育脳に取り組み推進していきます。また、検証、評価については、第3期未来計画の基礎目標、「社会的に自立した人を育てる」の成果指標により、達成状況を踏まえ今後の取り組みに反映させていきます。

コミュニケーションスクールについて

質問 町内小中学校全校に設置する予定となつているがどのように推進していく考えか。

教育長 昨年度より田野小学校をモデル校として2年目を迎えておりましたが、今後の取り組みとしてモデル校の取り組みを各学校参加のもと検証し、教員、PTA役員等を対象に研修会を開催して令和7年度までに全校設置を目指します。

質問 コミュニティスクールの具体的活動はどのように考えるか。

教育長 地域と共にある学校づくりを目指して学校運営の基本方針の承認等や地域ごとに特徴ある取り組みを行つていきます。田野小学校においては、こども110番の新たな設置や地元消防団等による避難訓練の実施を予定しております。



小島 富子 議員

**町の最重要課題である
少子化解決施策について**

少子化解決施策について

質問 少子化施策の取組と子育て世代への支援事業等推進状況は。

町長 第3期ましこ未来計画で優先目標、「子供を育てたいまち」「住みたいまち」「仕事のあるまち」3つを定め最終的に少子化克服へ繋げていく。これまでの支援に加え、令和3年度から新たに保育料0歳児からの無償化や子供2人以上世帯の副食費免除、若年子育て世代への家賃補助などの施策も行なっている。

質問 県内初という全ての児童の保育料無償の思い切った施策により、現在重要事業指標100人に近づきつつあり、今後も明るい未来へと続くことを願う。次に小児科、耳鼻科などの誘致推進状況は。

健康福祉課長 町の医師会や郡の医師会と今後相談を重ね検討していく。

日本遺産の事業状況について

質問 かさましこ日本遺産活性化協議会事業の進捗状況は。

町長 事業の推進主体を文化振興グループと観光振興グループとし、それぞれの事業説明などを協議しながら進めている。また目的により各分野が別れているが、その中から昨年度はガイド育成マニュアルを作成し、今年度講習会を開催する。

質問 観光ガイド育成事業の状況は。

生涯学習課長 文化財に关心のある方、英語が話せる方など含め現在参加人数益子笠間合わせて45名で、第1回目の講義を済ませ町の既存の観光ボランティアとも連携を図りながら進めてまいりたいと考えている。

質問 日本遺産などの観光資源を活用し魅力ある滞在型観光を推進し、地域全体の活性化を図ることが望まれる。さらに笠間市と広域連携をし、周遊性を深め国内外観光客に満足感を得ていただければ、かさましこ共通の課題でもある町内総生産の向上へと寄与できると考えるが、目指すべき町の将来像は。

副町長 日本遺産認定により町のブランド化が図られたので、まず益子の魅力を発信することが重要である。これまでの観光戦略と違い、かさましこという新たなストーリーを示し、益子に来て体感していただく取り組みを進め、地域経済の活性化を図るまちづくりに取り組んでいきたい。

観光振興について

町長 県や警察等しっかりと連携をとつて、条例の制定も強化していく。

質問 北郷谷地区の道路の損傷や壁のような盛土は、問題ないのか。道路を肩代わり修繕して当事者にあとから請求することはできないか。

町長 人材育成を実現するため、農業と食のプロジェクトによる様々な事業を展開していく。チャレンジショップは、パン製造販売をメインとし商店街の活性化に資する内容で、ふるさと納税の返礼品への対応も努力要件です。



大関 保 議員

土砂の埋め立てや盛土の対策

質問 町外や県外からの土砂の搬入をどの程度把握されているか。熱海市のような土石流災害による危険はないか。また、大型ダンプの通行による道路への影響はないか。

町長 土砂等搬入届に基づき把握している。急傾斜地における盛土の再点検を実施し安全を確認している。

町長 道路については、北郷谷地内の町道・林道の損傷を確認している。

質問 届け出が虚偽だった場合や、違反した場合の対策は。

町長 県や警察等しっかりと連携をとつて、条例の制定も強化していく。

質問 北郷谷地区の道路の損傷や壁のような盛土は、問題ないのか。道路を肩代わり修繕して当事者にあとから請求することはできないか。

町長 農の学校、食の学校の計画はどうに進めるのか。また、チャレンジショップの活用計画内容は。

質問 農業と食のプロジェクトによる様々な事業を展開していく。チャレンジショップは、パン製造販売をメインとし商店街の活性化に資する内容で、ふるさと納税の返礼品への対応も努力要件です。

質問

新型コロナ禍、土祭を実施した結果どのようない効果があつたか。それぞれの事業説明などを協議しながら進めている。また目的により各分野が別れているが、その中から昨年度はガイド育成マニュアルを作成し、今年度講習会を開催する。

質問 レンタサイクルステーション等の二次交通の推進の計画は。

町長 ましこラボを中心に、町内事業者や観光客からの要望を踏まえて検討していく。

質問 土祭を実施した結果どの程度経済効果があつたと思われるか。また、購入されたレンタサイクル用自転車の利用実績は。

質問 現在調査をかけている段階で集計が出来次第、実績報告と共にお知らせしたい。レンタサイ

クルの利用実績は町内散策に3組8名です。

令和3年12月定例会 一般質問

質問 タブレットは学校での厳重な管理体制の構築が必要ではないか。

ネットいじめから子供をどう守るかについて



諸田 秀之 議員

隣県2022年生産緑地問題による本町での影響について

質問

本町の重要な施策である空き家対策、住民定住政策、人口移動など本町への若干あるとされる影響についてはどうのように考えているか。

町長

都市部で指定を受けた生産緑地の営農義務が解除される最短が2022年であり、人口が減少する一方で、市街化区域農地の宅地への転用が加速化していくのではないかというものの、都市部やその郊外において宅地化が進み、住宅事情が大きく変化していくことも予想されています。益子町を含む地方へのU、I、Jターンの動向については十分注視をしていく必要があると考え、地方への移住を検討される方々は、こうした住宅事情以外に、地方が持つ豊かな自然や人、暮らしやすさなどを益子町のよさを発信しながら、空き屋バングなど住宅施策の充実、移住の獲得に努めて参りたいと考えます。

教育長

タブレットの管理体制について現在、学校の授業で教員の管理下でのみ使用しており、ネットいじめに繋がる事はないと考えております。児童・生徒が安心、安全、快適に使用できるよう定めた「タブレットパソコン活用のきまり」を基に、アプリケーションの機能を一括管理し、機能の制限をかける事も行っています。

質問

スマートフォンやデジタル機器による深刻ないじめ状況の把握はどうなっているのか。

教育長

各小中校から機器に関する未解決の案件はなく、各学校の指導により順次解消されており、指導等の充実を図り、教育活動全体を通じていじめの未然防止に努めます。

メガソーラーでの環境保全問題全般について

環境保全問題全般について

質問

事業主が頓挫し使われなくなつたパネル設備の扱いについてどのように対策を講じる考えているか。

町長

事業主が事業途中で一時中止または廃止しようとすると、森林法に基づく許可による設置であれば同法の許可を運用する県への廃止



岩崎 秀樹 議員

図書館建設について

質問

過去に複合施設にしないと補助金がもらえないから複合施設にしたような説明を受けたがその辺はどうなっているのか。

町長

当時は複合施設でないと駄目だったが現在は単体でも大丈夫。本好きだけでなく色々な方に集まつて頂ける方がいいのではと言うことで計画を進めている。

質問 土地区画整理地以外に図書館を造る話になつた場合、地区画整理事業に支障はないのか。

町長

支障はない。

質問 町では町内循環型経済の推進をしている。総予算15億円と聞いているが、もし事業を実施した場合

町内総生産の上乗せになるのか、それとも町外への流出となるのか。

町長

町長

提案として受け止める。

アメリカでは公共図書館の9割以上がデジタル化されている。急速に進むデジタル化の流れを鑑み、もう1回基本計画を考えたい。

生涯学習課長

今後のスピードがどの程度か見極めづらい。基本計画は運営計画で見直して行きたい。

質問

図書館の基本サービスにレファレンス（調べもの）があるが、レファレンスでも1番いいのも、デジタル。いかにデータベースの一次情報へのアクセスが重要で、基本計画にある様に何かを本で調べて何々する時代ではないのでは。

生涯学習課長

レファレンスには司書がいる。良い司書がいると

ころが良い図書館と言われている。

意見

情報のデジタル化は加速度的に進行しており、情報の格差が色々な格差の根源となりつつある。

格差解消のためには町民の皆様一人一人に新しい情報が湧いて出てくる

泉のような施設が必要と思う。それ

を図書館とするのであれば、デジタルに詳しいエンジニアの方、ファイ

ナンシャルプランナーのような財政

計画の策定を要望し質問を終了する。

質問 ネットいじめから子供をどう守るかについて

タブレットは学校での厳重な管理体制の構築が必要ではないか。

な管理体制の構築が必要ではないか。

より防災施設等の措置が認められる

時は県で指導指示する事になります。

項目審査の評点値に上限を定めては



大内千嘉夫 議員

通学路の安全確保と緊急自動車の通行可能な道路について

通行可能な道路について

質問 道路の隣地から、建築限界を超えている樹木のはみ出しに対しどう取り組んでいるか。

町長 町ホームページでの周知、所有者への通知や指導を行っています。但し、やむを得ないと判断した場合は、道路管理者として危険部分の除去を行つてまいります。

質問 建築限界のパトロールで危険と判断した箇所はどの位か。
建設課長 31ヶ所程あり、隣地所有者に直接又は、文書で通知し枝払いをお願いしています。

質問 通学路の町内パトロールはどうしているか。
学校教育課長 通学路安全対策協議会で毎年点検して関係機関と危険箇所と思われる路線の調査・対策を行っています。

質問 隣地からの枝が垂れ下がっている箇所で、緊急自動車が通れない道路対策はどうか。

建設課長 通学路、一般の方が生活

で利用している道路を優先等勘案しながら対応していきたい。

障害児保育・療育について

質問 障害児加配補助金と、障害児保育と療育に、今後どのように取組んでいくのか。

町長 保育士加算の人事費を国・県・町が一部負担する療育支援加算と、町単独の障害児受け入れ事業補助金があり、町では園に対し制度の周知に努めています。今後の取組は障害の程度によって保育所等で保育が難しい場合は広域運営のことも発達支援センターひまわり園等も選択肢の一つとして案内も含め、柔軟な対応をしてまいります。

質問 第2期益子町障がい児福祉計画で、保育所の訪問回数を多くした狙いと、関連で今後、障害児の増減はどのように考えているか。
健康福祉課長 障害児が集団生活で早く慣れる体制を取れるように回数を増やしています。障害児数はここ数年減少していないので、今後も同じような傾向が続くと考えています。

意見 第3期ましこ未来計画の最優先順位1で、子育て・教育環境の充実を図り「子供を育てたいまち」をつくるとあります。同じく、障害児の子育ての更なる充実を図る事を要望します。

質問 第2期益子町障がい児福祉計画で、保育所の訪問回数を多くした狙いと、関連で今後、障害児の増減はどのように考えているか。
建設課長 31ヶ所程あり、隣地所有者に直接又は、文書で通知し枝払いをお願いしています。

質問 通学路の町内パトロールはどうしているか。

学校教育課長 通学路安全対策協議会で毎年点検して関係機関と危険箇所と思われる路線の調査・対策を行っています。

質問 隣地からの枝が垂れ下がっている箇所で、緊急自動車が通れない道路対策はどうか。

建設課長 通学路、一般の方が生活



小野澤 則子 議員

観光の基幹産業化に向けた取り組みと現在の状況について

取り組みと現在の状況について

質問 町内総生産を増やすという観光戦略の狙いについて具体的にどうしていくのか。

町長 観光収入を増やすことが重要。滞在型日常型観光に向けたライ

マシポカードによる地域経済型の経済構築など6つの戦略を推進する。

質問 土祭効果は長期的視点で考

えて頂きたいと大関議員の質問に対し、町長が答弁しました。大金を投じた土祭は10年以上経つており、もう成果がハッキリ感じられていい時期にきている。コロナ禍で町内の事業者も苦しい中にあり、効果が実感できなければならない。観光事業

を増やしています。障害児数はここ

数年減少していないので、今後も同

じような傾向が続くと考えています。

意見 第3期ましこ未来計画の最

優先順位1で、子育て・教育環境の充実を図り「子供を育てたいまち」

をつくるとあります。同じく、障害

児の子育ての更なる充実を図る事を要望します。

質問 第3期ましこ未来計画の最優先順位1で、子育て・教育環境の充実を図り「子供を育てたいまち」をつくるとあります。同じく、障害児の子育ての更なる充実を図る事を要望します。

建設課長 通学路、一般の方が生活

産業建設部長 仰るとおりと思います。ましこラボ自体が儲かつて、町内の事業者に恩恵が回らないというのではなくてもいい話。町内の事業者の方が繁栄を受けて、結果としてDMOが成長していくという姿をベースに事業を組み立てなければいけないと考えている。

ましこ男女共同参画プランについて

質問 第3期ましこ男女共同参画プランの策定にあたり、重要事項や

達成したい取り組みは何か。

教育長 根強く残る固定的な性別役割分担意識やワーク・ライフ・バランス、ジェンダー平等に関わる取り組みなどが挙げられる。

質問 町内小中学校の教員のワーカー・ライフ・バランスについて変化

はあつたのか。また、どのような取り組みをしているのか。

教育長 家庭と仕事の両立をさせられるよう、業務改善に努めてきた。

教職員が家庭生活に積極的に参画できるよう環境づくりを行なつた。

質問 あらゆる年代の方が男女共

同参画プランを理解するために地域のリーダーにセミナーを受けてもら

うべきと考えますが、どうお考えか。

教育長 今後も積極的に研修等を行つて様々な方にご参加いただきたい。

質問 ましこラボ自体が儲かつて、町内の事業者に恩恵が回らないというのではなくてもいい話。町内の事業者の方が繁栄を受けて、結果としてDMOが成長していくという姿をベースに事業を組み立てなければいけないと考えている。

建設課長 通学路、一般の方が生活

要望活動・議会活性化検討委員会からの報告

令和4年度予算の要望 を町長に提出

12月2日、議会から町長に對し、来年度予算について要望書を提出しました。

コロナ禍による地域経済支援策の強化、中学校卒業年度に子育て応援手当の増額の検討、衛生用品（オムツ・生理用品）の備蓄、ICT支援員の拡充、介護手当の増額、各種事業・イベント等の適正な評価に基づく統合・廃止の推進などを要望しました。

自治会長連絡協議会 との意見交換会を開催

10月16日、益子駅舎2階多目的ホールにおいて、自治会長連絡協議会との意見交換会を行いました。4グループに分かれ、議会活性化について話し合いました。
※頂いたご意見の内容については、町議会ホームページに掲載しています。

議会活性化検討委員会より 報告と御礼

前回の益子町議会議員選挙が定数ちょうどどの無投票に終わったことを受けて、議員定数見直しのご意見が各方面から議会に届きました。これを受けた議長諮問として“議会活性化検討委員会”が設置され、議会活性化のための方策と議員定数見直しについて検討してまいりました。自治会長連絡協議会の皆様との意見交換会や、広く町民の皆様から募集した意見の集計結果を十分考慮し、委員会として下記概要の報告書を、議長に12月24日に提出しました。

※頂いたご意見・報告書全文については、町議会ホームページに掲載しています。

★議員定数について

議員定数を14名に変更する ことを提案

人口減少や社会情勢・他市町の動向を考慮。寄せられたご意見も定数削減が多数でした。よって定数は2名減の14名を提案します。

★議会活性化について

寄せられた多くの提案の実現に向けて、新たな議長諮問の委員会を設置し具体化することを提案します。

★今後についての要望

定数2削減を提案しましたが、今後条例改正により定数が削減された場合でも、議会費の総額が減少しないように要望いたします。頂いたご意見・提案を具体的に活かして議会をより活性化しようとすれば、議会事務局職員の増員やデジタル化に伴う機器やシステムの充実をはじめ、議会をサポートする制度の導入や議員各位・各委員会の経費増など、様々な費用増が見込まれます。議員報酬総額が減少する場合でも、議会費の総額が減ることの無いよう、当委員会の総まとめとして強く要望いたします。

令和3年12月24日

★議員報酬について

現状維持を提案

寄せられたご意見の7割超が報酬は増額すべきとありましたが、現在の経済状況や町財政を考慮して現状維持を提案します。

議会活性化検討委員会委員長 長岡 景介

※今後この報告書を受けて議会としての結論が出ます。条例改正があれば令和4年3月議会においてです。ご協力いただいた全ての町民の皆様に感謝いたします。今後とも議会活性化への活発なご意見・ご支援をお願い申し上げます。

～10月・11月・12月実施分～

- 防災・減災等安全安心に暮らせるまちづくり（10/28）
- 耕作放棄地対策（10/28） ○職員の働き方・職場環境（11/26）
- ふるさと納税（11/26） ○土祭（12/27） ○観光戦略（12/27）
- チャレンジショップ（12/27）
- 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について
　国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする
　意見書の採択を求める陳情（11/26、12/27）



塙地内 水路補修工事の様子

● 防災・減災等安全安心に暮らせるまちづくり

第3期ましこ未来計画の中で、日常を守る災害対策の推進として、地区防災計画策定を、令和7年度には4自治会と目標設定している。今までに新町・生田目の2自治会で地区防災計画を作成しており、次の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について意見書の採択を求める陳情（11/26、12/27）

総務産業常任委員会

8項目

● 防災・減災等安全安心に暮らせるまちづくり

【委員会の意見】

る人がいない場合には法人等に働きかけをして耕作者を探していく。農地として再生利用が困難な土地については、農地としての利用の意思がないものとして、非農地判断とは困難な状況にある。



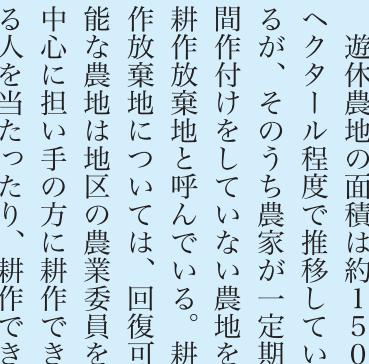
七井駅付近 水害箇所の様子

● 耕作放棄地対策

【委員会の意見】

遊休農地の面積は約150ヘクタール程度で推移しているが、そのうち農家が一定期間作付けをしていない農地を耕作放棄地と呼んでいる。耕作放棄地については、回復可能な農地は地区の農業委員を中心に行い手の方に耕作できる人を当たつたり、耕作でき

人情報保護の観点から、行政と自治会長・班長との情報の共有等検討すべき課題が多いが、基本的には要支援者全員の救助を目指して進めていく。



大平地内 耕作放棄地の様子

【委員会の意見】

遊休農地の実態を継続的に調査するとともに、耕作者及び所有者の実情や意向を確認して、遊休農地拡大の防止と有効活用に生かすよう努力さ

れたい。

● 職員の働き方・職場環境

【委員会の意見】

部課長制度は、管理から経営へという方針のもと制度化されており、目的達成のため兼務解消を図られたい。

また、職員の働き方改革を

推進し併せて行政の効率化を図るために、ICT化・DX化・デジタル化の推進に当たら

必要である。人事評価制度については、職員間で目標設定にばらつきがあるが、全て共通認識のもと、公平公正に評価していく。

また、職員の働き方改革を

推進し併せて行政の効率化を図るために、ICT化・DX化・デジタル化の推進に当たら

風水害で避難が必要となる自治会（地区）の防災計画策定の目標値が令和7年度で4自治会となつていて既に2自治会で策定が終了しているが、この防災計画策定は町民の人命に関わる重大なことなので、全自治会での策定を目指して推進されたい。

耕作者あるいは所有者に対し自分で耕作するのかまたは貸し出していくのか等、今後の活用の仕方や方針等を確認していく。

耕作者あるいは所有者に対し自分で耕作するのかまたは貸し出していくのか等、今後の活用の仕方や方針等を確認していく。

耕作者あるいは所有者に対し自分で耕作するのかまたは貸し出していくのか等、今後の活用の仕方や方針等を確認していく。

耕作者あるいは所有者に対し自分で耕作するのかまたは貸し出していくのか等、今後の活用の仕方や方針等を確認していく。

教育厚生 常任委員会

5項目

- ごみ排出対策及び分別リサイクル対策（10/28）
- 窓口業務（戸籍附票データ化、マイナンバーカード交付）（10/28）
- ましこ世間遺産事業（11/26）
- 土砂の埋立て等による災害発生防止対策（12/27）
- 図書館基本計画策定（10/28、11/26、12/27）

●窓口業務

マイナンバーの交付枚数は9月末の時点で6872枚、交付率30・5%である。交付率が低いためコンビニ交付は実施していないが、金曜日の窓口時間延長や第1・第3土曜日の窓口開庁を実施し、証明書の発行だけでなく、転入転出などの住民基本台帳事務や戸籍の各種届出も受付している。マイナンバーカードの交付率向上のため、今後、町内の商業施設や事業所、老人クラブ等に出向いてのマイナンバーカードの出張申請も考えている。



十二天真言八祖絵図の説明を受ける様子

●ましこ世間遺産事業

ましこ世間遺産の中から、星宮神社及び十二天真言八祖絵図を見学。

戸籍附票のデータ化については、住民基本台帳法の一部改正により住民票の除票と戸籍附票の除票の保存年限が5年から150年になつた。これは本人確認情報の長期かつ確実な保存及び公証のためと所有者不明土地問題や空き家対策問題解消のために、登記上の所有者の住所の履歴を確認する手段として使われる。

現在、行政事務の効率化を図るため、住民基本台帳システムと戸籍システムの改修を行つて、戸籍附票のデータ化を実現する。戸籍附票のデータ化は、戸籍の各種届出も受付している。マイナンバーカードの交付率向上のため、今後、町内の商業施設や事業所、老人クラブ等に出向いてのマイナンバーカードの出張申請も考えている。



無届土砂埋立現場 現地確認

教育厚生 常任委員会

5項目

行っている。令和5年度からは本籍以外の市町でも戸籍が取得可能になる予定である。

【委員会の意見】

町内の医療機関で保険証と紐づけしたマイナンバーカードでオンライン資格を確認できるよう、機械導入の推進について支援されたい。

経費を考えてカードの交付率が上がらないからコンビニ交付をしないというより、コンビニ交付も利用できるからカードを作るということも含めてコンビニ交付の検討をされたい。



星宮神社の説明を受ける様子

【委員会の意見】

世間遺産を現在は募集していないが、小さな世間遺産の掘り起こしも考え、今後百件の認定を目指すなどの検討をしている。登録申請は昨年度で終了したが、今後の新規登録や、現在登録されているものの現状確認・登録見直しの必要性については今後検討していきたい。

令和2年度の環境整備補助金の申請数は25団体であり、事業費補助額が上限2万円に達している団体はそのうち約半数である。

ましこ世間遺産の活用については、民間で行つた世間遺産を巡るロゲイニングの評判が良かつたので、今後、町でも、ただ見てもらうだけではなく、楽しく巡つてもらえる工夫をしていきたいと考えている。ましこ世間遺産の中に

「上大羽 源頼朝の弟、阿野全成の墓と大六天の森」があるが、2022年NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に阿野全成が登場するので、それを利用したPRも実施していきたい。

世間遺産を現在は募集していないが、小さな世間遺産の掘り起こしも考え、今後百件の認定を目指すなどの検討をされたい。また、町指定文化財とのすみ分けを考え、整備補助金制度の見直しの検討をされたい。さらに、登録場所についてグーグルマップとの紐づけやvoicyを活用した音声ガイドなどを検討されたい。

町民の声

矢野 修二郎さん



伝統文化のまち益子に住むよろこび

昭和45年(1970年)生まれ
51歳
宮崎県延岡市出身 会社員
益子町に住んで22年になります。趣味はギターとサイクリングです!

重な経験ができました。

また、数年前にエビコー

サイクルさんのご縁で入れ
ていただいたサイクリングまし
チーム「チューリングまし
こ」では、益子の自然の中
をロードバイクで走りなが
ら、地域のみなさんと交流
するのがとても楽しいです。

また妻は、子育て後に始
めた焼き物の仕事の関連で、
ロードバイクで走りながら、
地域のみなさんと交流する
のがとても楽しいです。

重な経験ができました。
また妻は、子育て後に始
めた焼き物の仕事の関連で、
ロードバイクで走りながら、
地域のみなさんと交流する
のがとても楽しいです。

出身は宮崎県で、会社の都合で初めて栃木に来ました。偶然目に入った国道沿いの看板にあつた「益子の分譲地」という言葉を見て、妻と「陶芸の文化のあるまちだから、楽しいかもしれないね」と話したことを憶えています。早速見に行つた土地は、良心的な地元の会社のもので、ほぼ即決して、益子町との縁が始まりました。

益子町に住み始めてすぐに感じたのは、陶芸の文化のみならず、さまざまな文化と人の魅力があふれるまちだということでした。

子育てが始まると、幼稚園のおやじの会や育成会でのつながりができ、どんどん地域の親御さんや先生方と一緒に焼き物や陶芸の文化を学ぶ機会が増えてきました。また、地域の自治会や祭りなど、様々な文化活動に参加する機会が増えました。



やがて厄年となり参加させていただいた、星宮神社の節分祭は、高い櫓から大量のお菓子と御捻りを蒔く豪快なもので、自治会のみなさんと、神社を守りながら、過去と未来の世代につながる喜びを感じました。

これからも、地元の文化とヒトとのつながりを大切にして、益子に住み続けたいと思います。

焼きや盆踊りなど、地域の一員として、子供と一緒に古き良き日本の伝統文化に触れられることの幸せを感じました。

また妻は、子育て後に始めた焼き物の仕事の関連で、たくさんの地元のみなさんにお世話になっており、益子のオープンで懐の深い風土のおかげと感謝しています。

あなたも議会を傍聴しませんか

次回 3月3日(木) 開会予定

本会議当日、3階議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。

※新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。



意見交換会について

議会主催の意見交換会については、1月から2月にかけて、各小学校PTAの皆様と、子ども達に関する議会や町への要望・意見について意見交換会を行うということで準備を進めてまいりました。

しかし、1月に入り、新型コロナウイルスの感染者が全国的に急増し、益子町においても感染者が増加傾向にあることから、このたび延期という形を取らせていただきました。

ご準備いただいた皆様には、直前の延期によりご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

新型コロナウイルスが落ち着いたら再開したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

広報広聴
常任委員会

